2026 山階鳥研見にレクチャー

終了しました

11 月 7 日（土）　時間割

10:30 ～　①保全事業完了！奄美大島のアマミヤマシギとオオトラツグミ　水田拓
11:30 ～　② 2024 年標識調査　おいしいとこだけつまみぐい　千田万里子
12:30 ～　③鳥類標本について学ぼう（小学生～大学院生対象）　岩見恭子
13:30 ～　④アオジ幼鳥の秋の死亡率　仲村昇
14:30 ～　⑤鳥類の羽毛の構造や発色と構造色　森本元

講演内容

各回 30 分程度

① 保全事業完了！奄美大島のアマミヤマシギとオオトラツグミ	アマミヤマシギとオオトラツグミは奄美大島に住む絶滅が心配されている鳥類です。しかし、今年の 3 月に公表されたレッドリストでは絶滅危惧種でなくなり、6 月には環境省が行っていた保全事業が完了しました。なぜそうなったのか、その理由を解説します。	一般向け
② 2024 年標識調査　おいしいとこだけつまみぐい	「2025 年の間違いじゃない？」いえいえ、鳥類標識調査では、毎年大量の足環装着記録・再発見報告を扱っているので、1 年越しのデータ整理を経てようやくお見せできるようになるのです。3 月に公開された 2024 年の成果から､面白い部分をぎゅっと集めて皆さんにご紹介します。	一般向け
③ 鳥類標本について学ぼう	鳥類標本は何故必要なのか？鳥類標本の作り方から保存までを紹介します。	小学生以上から大学院生で標本製作に興味がある方
④ アオジ幼鳥の秋の死亡率	本州中部以北で秋に標識調査を行うと多数のアオジが捕獲されます。捕獲個体に含まれる幼鳥の割合は北海道では 90%を超えますが、本州では 60 ～ 70%程度です。これは、幼鳥の死亡率が高いため、時間経過とともに幼鳥の割合が下がると考えれば説明できます。成鳥を基準に、幼鳥の死亡率がどれほど高いのか検討します。	一般向け
⑤ 鳥類の羽毛の構造や発色と構造色	鳥類は外見の色彩が多様な動物として知られていると同時に、最大の特徴の一つは全身が羽毛で覆われている点にあります。つまり、鳥の色とは羽毛の色に他なりません。そして羽毛は独特の構造をしています。また、鳥の発色メカニズムには複数の仕組みが知られており、その一つが構造色です。本発表ではこれらについて紹介します。	一般向け